

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302

必修 2単位

西澤 保

1. 授業の概要(ねらい)

演習Ⅱの授業内容・進め方は、学生とよく話し合いながら決めていく。演習Ⅱでは、演習Ⅰを踏まえて、グループごとに、あるいは個別に、テーマを設定して、そのテーマに即した学習・研究を深めて、順番に報告していただき討論を行うことを考えている。グループごとに、あるいは個別に、関心と学習、理解を深めていただくことを考えている。

いくつかの基本的な文献、新聞のコラムなどを読みながら、基礎知識を深めると同時に、ゼミの学生相互の理解を深め、共通意識・関心を高める。イギリスとヨーロッパの現代社会、資本主義を日本と比較しながら、歴史的に検討する。基礎的な文献として、『経済学は人々を幸福にできるか』(宇沢弘文著、東洋経済新報社)、『資本主義の革命家、ケインズ』(R.E. バックハウス・B.W. バイトマン著、栗林訳・西沢監訳、作品社)、『二十一世紀の資本主義論』(岩井克人著、筑摩書房)、ピーター・クラーク著、西沢他訳『イギリス現代史』(名古屋大学出版会)などの部分、そして新聞のコラムなどをコピーして配布する。

2. 授業の到達目標

イギリスとヨーロッパの現代社会、資本主義のいくつかの側面について、日本と比較しながら、理解を深めていただく。ゼミの学生同士が議論をし、理解と関心をともに高めていただく。一定の文章の読解力、まとめる力、プレゼンテーション能力などを高めていただく。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(55%)、レポート(45%)とし、総合的に評価する。演習なので積極的に参加すること、平常点を重要視する。

4. 教科書・参考文献

教科書

宇沢弘文 『経済学は人々を幸福にできるか』 (東洋経済新報社)

岩井克人 『二十一世紀の資本主義論』の最初の部分 (筑摩書房)

バックハウス、バイトマン著、栗林訳・西沢監訳 『資本主義の革命家、ケインズ』 (作品社)

ピーター・クラーク著、西沢他訳 『イギリス現代史』 (名古屋大学出版会)

などの部分、新聞のコラムなどを、順次プリントで配布する予定です。

5. 準備学修の内容

指示する文献、配布するプリントなどをよく読むこと。

6. その他履修上の注意事項

演習に積極的に参加すること。

7. 授業内容

- | | |
|--------|------------------------------|
| 【第1回】 | 演習の進め方についての話し合い |
| 【第2回】 | 演習の進め方・方針の決定 |
| 【第3回】 | イギリス・ヨーロッパ現代社会の諸問題についての輪読・報告 |
| 【第4回】 | イギリスとEUをめぐる問題についての輪読・報告 |
| 【第5回】 | イギリスとEUをめぐる問題についての討論 |
| 【第6回】 | 全体討論 |
| 【第7回】 | ケインズ、経済思想と現代資本主義社会についての輪読・報告 |
| 【第8回】 | ケインズの資本主義観と道徳哲学1 |
| 【第9回】 | ケインズの資本主義観と道徳哲学2 |
| 【第10回】 | 全体討論 |
| 【第11回】 | イギリス・ヨーロッパと日本の比較-歴史的検討 |
| 【第12回】 | イギリス・ヨーロッパの経済と日本経済の比較 |
| 【第13回】 | イギリス・ヨーロッパの経済と日本経済の比較 |
| 【第14回】 | 全体討論 |
| 【第15回】 | まとめ |